壁新聞にご利用下さい

発行
社団法人 横浜港防犯協力会
横浜市中区海岸通1－1
電話 (201)2982番
印刷所 ㈲プリテック
TEL(711)2757

新年のご挨拶

㈳横浜港防犯協力会
会長 藤木幸太

新年明けましておめでとうございます。

会員並びに関係各位の皆様方におかれましては、希望に満ちた新春をお健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと残念ながらあまり良い事の見えない年であったように思います。

サブプライムローンに端を発したアメリカ発の世界的な景気の減速や原油の異常な高騰などがあり、またインドのテロ事件などに代表されるようなテロあるいは紛争なども依然として発生し、暗い影を落としたことも多くありました。

国内に目を向けますと岩手宮城内陸地震といった自然災害が発生し、身近なところでは事故米を食用と偽って偽装販売をするなどの食品の偽装も後を絶たず露見しております。

そして、秋葉原の無差別殺傷事件のような誰が被害者になるか想像も出来ない「誰でもよかった」型の凶悪犯罪も多く発生しました。このように非常に不安な混沌とした世情なのではないかと思います。

ここ最近の治安情勢ですが、犯罪認知件数は平成十四年をピークとして毎年減少しておりましたが、最近はまたやや増加傾向にあるように聞いております。

県内でもお年寄りを狙った振り込め詐欺の被害は甚大で大きな社会問題であり、深刻かつ悪質な犯罪であります。この振り込め詐欺も昨年の六月以降は警察関係の方々の強い姿勢での取り組みの成果が実を結び一時よりも減少傾向になりつつありますが、まだまだその根絶までには至っておりません。

当防犯協力会は、お年寄りやお子さんにも安全・安心に生活していけるよう市民、自治体、警察と密接な連携を取り、犯罪の発生しない住みやすい街づくり、明るい港づくりの実現を目指し、一層の努力を惜しまない所存であります。

また効果的な防犯活動の推進には自助努力とともに皆様方のご支援ご協力は欠かせません。

今後とも当防犯協力会への倍旧のお引き立てをお願いし、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

新年のご挨拶

横浜水上警察署長
松川敬

新年あけましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様方には、日頃より警察業務全般にわたり深いご理解とご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の治安状況を振り返りますと、国内、県内において、けん銃を使用した事件や東京秋葉原事件に象徴される無差別殺傷事件、幼い子に対する凶悪事件、振り込め詐欺被害の多発など治安情勢は依然として厳しいものがあります。また、昨年は、五月にみなとみらい地区で開催されたアフリカ開発会議、七月には北海道洞爺湖サミットが開催され国際的な行事の多い年でもありました。

そのような中、当署管内においては、一昨年の年の初めに新港地区で交通死亡事故が発生し、二四年間継続していた交通死亡事故0記録が途絶えましたが、新たに交通死亡事故ゼロを目指して再スタートをきって悲惨な交通事故を減少させるための指導、取り締まりを行ってまいりました。また、七月に開催された国際花火大会では見物にきていた方の集団食中毒事案、九月には外国貨物船への荷積み作業中死亡した作業事故事案、十一月には山下ふ頭内倉庫の火災発生などの事案が発生した年でありましたが、おかげさまで凶悪犯罪の発生はありませんでした。

本年は、横浜開港百五十周年を控え、新港地区を中心として各種イベントが開催されます。そのため、昨年暮れには、関係機関との、港の安全確保に向けた検討会を開催し、本年も、川崎港及び江の島の湘南連絡所における活動も視野に入れ、署員一丸となって、『犯罪のない明るい港づくり』に努める所存でありますので、引き続き、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、横浜港防犯協力会の益々のご発展と会員皆様方のご家族共々のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

新年のご挨拶

横浜税関監視部長
大西彰

新年明けましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆様方におかれましては、日頃より税関行政に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を横浜港の貿易額で振り返ってみますと、前半は原油の高騰を筆頭に各種原料が軒並み値上がりし輸入額を押し上げ、また、輸出においては、自動車、建機が順調に伸び、輸出入ともに前年同月比を上回る月が多く見られましたが、後半、特にアメリカのサブプライムローン問題から一気に金融危機が始まった十月頃から、円高要因と輸出先の経済問題等が相俟ってこれまで順調に推移していた自動車、建機が軒並み減少し、日本経済と同様、横浜港の貿易も非常に変化の激しい年ではなかったかと思います。世界的な金融危機が実体経済にも影響を及ぼし、貿易の世界も暗いトンネルに入り込み出口の光も未だ見えない状況です。

経済はこのように混沌とした時期を迎えていますが、一方では、方向性がかなりはっきりと見えるものがあります。それは、サプライチェーンの中における物理的・人的なセキュリティの強化であります。

二〇〇一年九月米国同時多発テロを契機として始まった米国C－TPATの動きを受けて二〇〇六年六月WCO（世界税関機構）総会においてAEOのガイドラインが採択、我国では、同年の特定輸出申告制度を皮切りに本年の四月までにサプライチェーン事業者の殆どをカバーする制度が確立されました。AEOとは各事業者に貨物のセキュリティ管理とコンプライアンスの体制整備を主な要件として審査・検査等の軽減、手数料の軽減等のベネフィットを付与するというもので、セキュリティ強化と貿易の円滑化を両立するものとして、世界各国で進められており、今後は我国と米国、EU、豪州、アジア諸国と相互承認に向けた検討が行われる予定となっています。

また、各港におけるテロ対策としてのセキュリティ強化も進んでいます。横浜港ではすでに二〇〇三年三月から米国との間で、米国向けコンテナのCSIを実施し、現在は東京、名古屋、神戸港においても行われていますが、本年一月からはカナダとの間でも同様のCSIがスタートすることになっています。さらに、昨年七月、メガポート・イニシアチブ（MI）パイロット・プロジェクト実施に関する日米両政府の協同発表を受け、本年度中に全国ではじめて横浜港南本牧埠頭において、放射線検知施設を設置し、コンテナ内の核物質その他放射性物質の監視を行うこととしています。

このように、国際貿易港に対する様々な要求はその質・量ともに日増しに高まっており当協力会の果たす役割も非常に重要になっていることと思います。

私ども税関といたしましても、国民の安心・安全を水際で守るという大きな使命を果たすべく日夜貨物取締りに取り組んでいるところですが、本年一五〇周年を迎える横浜港がいつまでも安心・安全な港として誇れるためには、官民一体となった取組みが重要と考えておりますので、今後ともより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、会員の皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

横浜海上保安部長
小川泰治

新年あけましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会の会員の皆様方におかれましては、平成二十一年の麗らかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様方には、日頃から海上保安業務に対しまして、深いご理解とご協力・ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

横浜港防犯協力会におかれましては昭和二十二年六月に設立され、以来六十二年もの長きにわたり横浜港の安心・安全に大きく貢献されてこられました。ここに関係の皆様方のご尽力に対しまして、心から敬意を表する次第でございます。

さて、昨年も横浜海上保安部管内では、色々な事件事故が発生しましたが、いずれも大事に至ること無く、また、お陰さまで台風の襲来や地震等の大きな自然災害も有りませんでした。

中でも、五月末の横浜でのアフリカ開発会議や七月の北海道洞爺湖での主要国首脳会議の開催にあたりましては、横浜港内でのテロ活動や過激な反対運動が懸念されましたが、何事も無く成功裏に終えることが出来ましたし、また、過去に死傷者を出しました横浜港内での花火大会も全て大きな事故もなく無事終えることができました。

これも偏に、海上保安の業務に対する皆様方のご理解とご協力・ご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

昨年は、米国においてサブプライムローンが破綻し、世界各国に金融危機をもたらしました。我国においても急激な円高ドル安や株価低迷などの影響を受けて多くの企業が倒産するなど、社会に一抹の不安を与えました。社会不安は治安の悪化に繋がり易く、今後の動向が気になるところですが、横浜港における水際の危機管理については、それらの動きに惑わされ揺らぐことのないよう、本年も万全を期して取組んで参ります。

特に、最大の効果をあげる為には、地方自治体や関係機関、関係団体、そして地域の皆様方と心を一つにした地域ぐるみでの対応が欠かせず、皆様方との連携・協力をより一層密にして参ります。

安政六年六月（西暦一八五九年）に国際貿易港として開港した横浜港は、背後に巨大消費地である首都圏を控える商業港としての機能、京浜工業地帯などの臨海部の工業地帯の工業港としての機能、更には歴史的景観の観光港としての機能を併せ持ち、日本経済の発展に大きな役割を担って参りました。そして、本年、その横浜港は開港百五十周年を迎え、臨海部を中心に多くの記念行事・催しが予定されています。

横浜海上保安部としましても、これらの記念行事・催しが大成功するよう、横浜港の安心・安全の確保に努めて参る所存でございます。本年も引き続き会員の皆様方の更なるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、横浜港防犯協力会の益々のご発展と、会員の皆様の益々のご健勝並びに本年が輝かしい年になることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜市港湾局長
川口正敏

新年明けまして、おめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

横浜港防犯協力会会員の皆様方には、日頃から横浜港の振興・発展に御尽力いただくとともに、横浜港内の犯罪防止にかかる広報活動など安全な港づくりにお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。

横浜港では、関係の皆様の御協力をいただきながら、国際競争力の強化に向けた取組を進めており、サブプライムローンに端を発する世界的な金融不安の中で、横浜港の貨物取扱量はこの影響を受けつつも、堅調に推移しておりますが、世界経済の減速、我が国の輸出の減少傾向に注視していく必要があると考えております。

横浜港では安全で安心な港づくりを目指し、日頃から港湾関係の皆様と協力しながら安全対策を進めております。

防犯対策では、横浜港防犯協力会により、山下ふ頭での防犯キャンペーン、年末の夜間の合同パトロールなど各種犯罪の予防活動や啓発活動を、所轄警察署及び関係団体との協働により積極的に実施し、犯罪のない港の運営に寄与していただいて

います。また、本牧ふ頭、大黒ふ頭、山下ふ頭の各ふ頭内では、危険な台切シャーシや不法駐車を防止するため、社団法人神奈川県トラック協会と合同の夜間パトロールを定期的に実施しております。

昨年は全国の港湾で初となる「事故・コスト・CO2」の削減を目的とした「ゆっくり走ろう！横浜港」の取組を関係団体の皆様と開始しました。この様な取組は、横浜港防犯協力会に限らず港の様々な団体が協力し活動することで港の安全安心が確保されるものであり、日頃の取組に感謝申し上げます。

さて、今年はいよいよ開港百五十周年を迎え、さまざまな記念行事が催されます。三月には世界最大級の豪華客船「クイーン・メリー2」が横浜港に寄港します。象の鼻パークでは、開港記念日のオープンに向け、現在も急ピッチで工事が進められているところです。

多くの人々が横浜港を訪れる中で、防犯対策・安全対策が例年以上に重要になってきます。これを踏まえ関係機関や民間事業者との連携を密にし、安全な港づくりに取り組んでまいりますので、今後とも横浜港防犯協力会の皆様の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

皆様のますますの御発展と御健勝を祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜市中区長　**中上　直**

新年あけましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、平成二十一年の輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、藤木会長をはじめ横浜港防犯協力会の会員の皆様方には、平素から横浜市政・中区制に多大なるご支援とご協力を賜りまして、厚くお礼を申しあげますとともに、横浜港内の安心・安全な防犯対策の諸活動の推進に多大なる貢献をされていることに心から感謝をいたします。

さて、今年は横浜開港百五十周年に当たり、横浜港防犯協力会様の活動地区である中区の臨海部では、横浜開港百五十周年のイベントが数多く開催され、国内外から多くの方々をお迎えすることとなります。

また、中区では開港百五十周年記念事業として、六月に「象の鼻地区」がオープンいたします。

そのため、横浜開港百五十周年記念事業が行われる新港地区をはじめとするベイサイドエリアには、四百五十万人の人出が予想され、会場周辺では交通機関の混雑が予想されることから、来場者の安全な動線の確保などの交通対策や、来訪者の方が安心して楽しめるような防犯対策が重要となってまいります。

中区は、横浜を訪れる多くの方々を暖かくお迎えし、百五十周年の気運を盛り上げる取り組みを行い、「開港の地、中区」としての役割を果たしてまいりたいと考えています。

これからも、皆様には、横浜の顔として、「安全な港」「明るい港」の推進に、ご尽力をお願いいたしたいと考えております。

今年もまた、区民・事業者・関係機関の皆様と協働しながら、防犯対策に積極的に取り組み自主防犯活動への支援を一層強め、皆様と力を合わせて、安全・安心なまちの実現に向けて、活動してまいりますので、横浜港防犯協力会をはじめとする関係団体の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、横浜港防犯協力会様の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜港運協会
会長　**藤木幸夫**

港湾人の皆様、明けましておめでとうございます。

本年は横浜港開港一五〇周年記念の年、我々横浜港で働く身にとって誠におめでたい年であります。

昨年は、ミナト・ヨコハマは護送船団方式を確固たるものにし、波止場である港で、ものの見事に悪い波、すなわち行き過ぎた市場原理主義、外国の勝手なマネーゲームの影響、偏った富の配分などをことごとくシャットアウトして防波堤の役目を果たしました。我々の基本的な考え方であるGNO（義理人情恩返し）精神を守ることが出来、定着させるに至っています。

しかしながらどうでしょう、米国のサブプライムローンの問題に端を発したリーマンブラザーズの破綻をきっかけに一気に米国金融システムの崩壊につながり、それが瞬く間に世界同時恐慌にまで至ってしまいました。その影響は日本にも押し寄せ、今や未曾有の大不況と化しています。横浜港の貨物取扱いもこのところ目に見えて減っており、荷動きが停滞しつつあります。

このままではいけません。この重要なときこそ港湾人が一致団結してことに当ることが大切です。とにかくこの百年に一度といわれる世界的な金融システムの崩壊の原因は米国の行き過ぎた金融資本主義の失敗が露呈したことによるものです。我々はずっと戦後一貫して仕事の現場主義を貫き、仕事をしたものが一定の生活の保障が得られる本来のあるべき社会の実現を目指して参りました。このことが本当に正しかったのだということを正に証明したものです。この危機の時こそ我々が先輩から引き継いで築き上げたミナト・ヨコハマを安心して働けるように、さらに安定して確固たるものにしなければなりません。ちょっとした荒波が来たくらいではびくともしない、そんなミナトにしなければなりません。

国内を見たとき、最近は得体の知れない事件が頻発しています。象徴的なのは昨年六月に発生した秋葉原無差別殺傷事件ではないでしょうか。さらに続いて元厚生省事務次官を狙った連続殺傷事件です。これらは動機・理由がわからない。これを是正するには普段の生活において社会として取組んでいく必要があります。道徳の問題、常識の問題いろいろあると思いますが、GNO精神という基本的なものが益々社会一般に必要になってきていることの証左です。我々港湾人の考え方が社会一般にも必要となっているということです。地域の安全を守るにはこれらの社会的な背景の理解が大変重要です。これまでGNO精神がきちんと出来ているミナト・ヨコハマでこんな理由がはっきりしない犯罪が発生するようなことがないように皆さんには是非お願いしたい。

一方、国際的に見た場合、昨年末に発生したインド・ムンバイでの同時多発テロなど脅威が現実に発生するようになり、アジア諸国が不穏な情勢になってきています。これらの国々は日本が今後発展する上で重要な国々であり、関係も深い。従って、いつ何時、横浜港もこれらの国際的なテロ集団から標的にされるかもしれないし、何らかの事件に巻き込まれるかも知れない。こんな国際的な犯罪の集団からも我々港湾人は守らなければならない。では、どうやって防ぐか？これを是非今年から真剣に検討して行きたい。セキュリティーは守られて当然の世界、何事も起こらなくて当然なので、評価されないことが多い。でも考えて見てください「水と安全はただ」という日本にしか通用しない考えはこの際捨てて、多少なりともコストをかけてでも安全・安心なミナト・ヨコハマを構築して行こうではありませんか。それには横浜港保安協会、横浜港防犯協力会、さらに警察、海上保安庁、横浜税関、横浜検疫所などとの縦横斜めに亘る連携と横浜市民が一体となって守っていく姿勢を取ろうではありませんか。

開港百五十周年に当たる今年、安全・安心を中心にしたミナト作りに励んで参りたい。そのためには我々港湾人の日ごろの精進が大事であり、絶えず注意するように目を大きく見開いて前進あるのみです。

新年のご挨拶

横浜水上交通安全協会
会長　**渡邉清治郎**

新年明けましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申しあげます。

皆様には平素より、横浜水上交通安全協会の運営につきまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

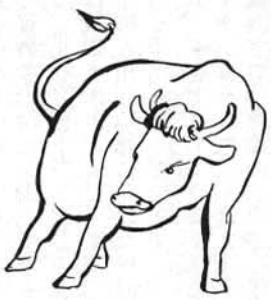
さて、貴協力会は日頃より犯罪防止のための広報、啓発活動や、会社、事業所等への各種防犯活動を積極的に推進され、犯罪のない明るく住みよい街づくりに多大の貢献をされておられますことに対し、感謝と敬意を表する次第であります。特に今年は横浜開港百五十周年の大イベントが開催され横浜港全体が活気を帯び、みなとみらい地区の横浜赤レンガ倉庫や、大桟橋等にて多くの観光客が集中する場所が増え、週末には早朝から夜遅くまでにぎわうと思われます。このため多種多様の犯罪が発生し治安情勢は厳しく、今後、貴防犯協力会の皆様の果たされる役割は益々重要性をおび、皆様方のご活躍に大きな期待が寄せられているところでございます。

交通問題につきまして神奈川県内では、昨年の十一月末までの交通事故件数は十二％減少、特に死亡事故につきましては大幅に減少し前年より実にマイナス五十三名となりました。

横浜水上警察署管内では、交通死亡事故ゼロ記録は六九二日となりました。その連続記録を絶やさないためには、水上警察としては万全の対策で望んでいただくことは元より、会員の皆様方のご協力が必要とされます。

横浜水上交通安全協会といたしましては、交通安全を中心として、貴防犯協力会はもとより、県、市、中区、警察等関係機関のご指導、ご協力をいただきながら、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故の撲滅に向けて努力する所存でありますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

年の初めにあたり、貴協力会ならびに会員の皆様方の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



謹賀新年

社団法人　横浜港防犯協力会

顧問
藤木幸夫
小儀和宏
魚谷憲治
中本槇夫
守屋秀信
藤木幸太
今田勲
菅井克枝
小林淳一郎
木田収
臼井茂樹
寺﨑憲治
花島孝明
鈴江孝裕
外園賢治
酒井英治
原田龍次郎
田端彰
笹田照近
松本吉弘
藤木幸夫

相談役
西河七吉
永山則良
中上直
松川敬

会長
藤木幸太

副会長
守屋秀信
小林誠司

常任理事
野田秀夫
伊東敬生
小儀和宏
松本雅己

〃

個人（賛助）会員

（順不同・敬称略）

諸官庁ならびに諸団体より寄せられました年頭の挨拶掲載は紙面の都合上順不同となりましたことをご了承いただきます。〈編集部〉